

杉並第二小学校

調べる楽しさ・読む楽しさを知る学校図書館

今の学校図書館

本校の教育目標は、『やさしくなる しあわせになる』である。心の豊かさを育み、学習の根本となる読書活動が、活発に行われてきた。

学校図書館は令和6年2月に竣工した新校舎の2階に位置しており、児童にとって行き来がしやすい。主体的に探究する活動や、調べるための活動にも、授業、休み時間を問わず利用されている。



(カウンター前のソファで寛いで読書する児童)

学校図書館の運営

- ・学校図書館運営委員会を行い、運営について協議している。
- ・様々な学習において学校図書館を計画的に活用するために年間計画を作成している。
- ・教職員にアンケートを取り、図書を購入している。
- ・学校図書館内には電子黒板が設置され、タブレットを活用し調べ学習を行うなど、様々なメディアの情報を使えるよう工夫している。

1年間の主な活動

- ・司書によるオリエンテーション
- ・年度当初にボランティアを募集
- ・地域の図書館を利用した団体貸し出し
- ・図書委員による本の貸し出しの当番活動
- ・年2回、読書旬間を実施。(朝読書、読書ビンゴ、教員及び「杉二図書館プロジェクト」の読み聞かせ、本の「福 Book ろ」、コラボ給食など)
- ・小中連携活動として、6年生が東田中学校学校図書館体験を実施

特色ある取組

・百科事典データベース「ブリタニカ・スクールエディション」を使用した授業を行うなど、デジタル資源を活用した授業を積極的に行っている。

・学年別課題図書「チャレンジ図書」を設け、達成した児童には「もう一冊かりられます券」を渡し、「チャレンジ図書の木」に名前を掲示するなど、読書意欲を高める取り組みをしている。

・保護者による図書ボランティア「杉二図書館プロジェクト」の活動が活発に行われ、読書旬間のプレゼントづくりや、本の修理などを行っている。

・図書室前のオープンスペースに、本校卒業生である谷川俊太郎、いわむらかずおなどの本を展示。貸し出しも行っている。同窓会文庫に関連した物品資料(エプロンや写真、サインなど)も展示し、地域の歴史を身近に感じられるようにしている。



(開放的なライブラリースペース・同窓会文庫)

これからの学校図書館

- ・電子黒板を活用した授業を行う。
- ・マルチメディア図書の活用を進める。
- ・教職員から購入図書のリクエストを取り、様々な教科での学校図書館の活用を促す。
- ・児童数・学級数の増加に伴い、蔵書数を増やしていくことが望まれる。分類の構成比率を適切に整えながら、授業や探究学習に適した資料を中心に購入していく。